

令和4年度 今治工業高等学校 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3単位
学科	全学科	学年	3学年		
学習目標	健康保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図るとともに、生涯にわたって運動に親しむ資質や態度を育てる。				
学習内容	学習項目		評価規準【評価の観点】		
	1 体づくり運動 (1) 体力テスト (2) 集団行動 2 選択制授業Ⅰ（下記より、1種目選択） (1) ソフトボール (2) バレー (3) ソフトテニス (4) 卓球 (5) バドミントン (6) 柔道 3 体育理論 (1) 生涯スポーツの見方・考え方 (2) ライフスタイルにおうじたスポーツ 4 選択制授業Ⅰ 5 選択制授業Ⅱ（下記より、1種目選択） (1) 陸上競技 (2) 器械運動 (3) ダンス 6 選択制授業Ⅲ（下記より、1種目選択） (1) サッカー (2) バスケット (3) ソフトテニス (4) 卓球 (5) バドミントン (6) ハンドボール (7) 柔道 7 体育理論 (1) 日本のスポーツ振興 (2) スポーツと環境 8 体づくり運動 (1) 体力を高める運動 9 選択制授業Ⅲ 10 課題学習		【A】 関心・意欲・態度 ・興味・関心を持ち進んで運動を楽しもうとしている。 ・健康・安全に留意して意欲的に練習やゲームに挑戦しようとしている。 ・協力して用具の準備や後片付けをしようとしている。 ・服装違反や忘れ物がなく休まずに授業に参加している。 ・スポーツの必要性や意義、運動の歴史や文化的特徴に関心を持ち、生涯にわたってスポーツに関わっていこうと進んで学習に取り組もうとしている。 【B】 思考・判断 ・自己の能力を知り学習のねらいを具体的に持つことができる。 ・協力して練習の工夫ができる。 ・チーム内でアイデアを出し合い次回のゲームに生かすことができる。 ・体力の向上を図るための運動の理論や方法を身に付けている。 【C】 運動の技能 ・個人的技能が身に付いている。 ・集団的技能を練習やゲームで生かすことができる。 ・試合の運営や審判等に積極的に取り組んでいる。 ・戦術を使い相手の攻防に合ったゲームができる。 【D】 知識・理解 ・練習の方法や練習計画の立て方を理解している。 ・ルール、審判方法及び競技会の企画や運営の仕方を理解し、ゲームに生かしている。 ・スポーツの意義や必要性、生涯にわたってスポーツにどのように関わっていけばよいか知っている。		
評価の観点	【A】 関心・意欲・態度 【B】 思考・判断 【C】 運動の技能 【D】 知識・理解				
評価方法	出席状況、授業への取組姿勢、実技テスト、レポート等による総合評価				
教科書等	最新高等保健体育（大修館書店）、マイスポーツ（大修館書店）				
備考	授業形態 ・講座で同一領域又は種目を学習する。（単一種型授業） ・いくつかの種目から一種目を選び、生徒が自主的に学習する。（選択制授業）				

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。